

【実務者向け短期プログラム】

令和7年度第3回（2026年2月開催）

制御システム向け  
サイバースティックス  
サイバーセキュリティ演習 (CyberSTIX) in 福岡

ご案内資料

2025年10月

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティセンター



※ CyberSTIX: **Cyber Security** practIcal eXercise  
for industrial control system

※ 本演習は、情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）の  
**実践講習**としても参加できます。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/riss/forriss/koushu/jissen.html>

## 「制御システムのセキュリティ」 備えは進んでいますか？

～ハンズオンで学ぶ産業制御システムのセキュリティ対策～

### 対象者

- 制御システムのサイバーセキュリティを担当している方、又は今後担当を予定されている方
  - ITパスポート試験合格者相当以上の知識を有していることを強く推奨します。

※本演習は、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的にプログラムを設計しています。そのため、日本の産業システムに関わる企業に所属し、上記目的に係る業務に従事していること、日本国籍を有することをご参加の条件としています。当該条件を満たさない場合、又は円滑な受講が困難と見なされる場合は、受講をお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

※身体の不自由な方は受講可能かどうかを事前にお問い合わせください。また、どのような配慮があるか、確認を希望される場合もお問い合わせください。

### 日程／会場

- 日程： 2026年2月16日（月）午後 ～ 17日（火）終日（計1.5日間予定）
- 会場： 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15  
福岡県中小企業振興センタービル 4階 401会議室  
<https://www.joho-fukuoka.or.jp/hall/access.html>

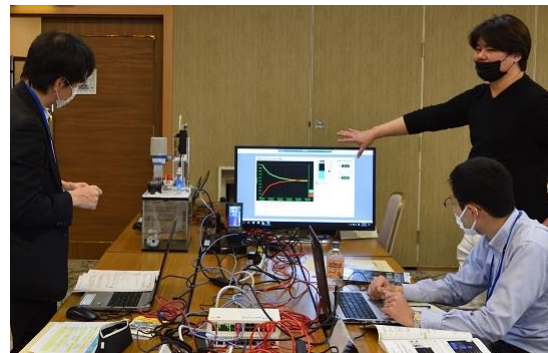
### 受講料／定員

- 受講料：【一般の方】17万6千円（税込） 【登録セキスペ（実践講習）】16万円（非課税）  
※受講料には、交通費・食事代は含みません。
- 定員： 最大20名  
※募集定員に到達し次第、募集を締め切らせていただきます。最少催行人数は4名です。

# 演習の特徴とスケジュール

## 演習の特徴

- 産業用制御システム（ICS : Industrial Control System）の模擬システムを用いたサイバー攻撃と対応のハンズオン演習により、実践的な防御方法を習得できます。
- 産業用制御システムのセキュリティを、ITにおけるセキュリティとの差を認識しながら習得いただけます。



## 演習スケジュール（予定）

1日目 13時30分～17時30分 ※適時休憩あり

オープニング

【セッション1】 産業用制御システム概要

【セッション2】 ネットワーク探索とマッピング

【セッション3】 脆弱性とMetasploitの利用

【セッション4】 Windowsに対する攻撃

2日目 10時00分～18時00分 ※適時休憩あり

オープニング

【セッション5】 Webアプリケーションに対する攻撃

【セッション6】 ICSネットワークに対する攻撃

【セッション7】 ICSにおけるセキュリティ対策

クロージング

## 満永 拓邦

東洋大学 情報連携学部 准教授

独立行政法人情報処理推進機構 専門委員



- 一般社団法人JPCERTコーディネーションセンターにおいて早期警戒グループマネジャー、技術アドバイザーを歴任し、脅威情報の収集、分析等に従事。
- 2015年から、東京大学情報学環の「セキュア情報化社会研究寄附講座」の中核メンバーとして、サイバー攻撃の実践演習環境（SiSOC TOKYOサイバーレンジ）を東京八重洲に立ち上げ、実地訓練による人材育成とともにハッキング防御技術やセキュリティ耐性の評価を実施。
- 2017年から、IPA産業サイバーセキュリティセンターの「中核人材育成プログラム」の講師（ITセキュリティ）を担当。  
OT（制御技術）とIT双方にわたる組織全体のサイバーセキュリティ対策の中核となる人材の育成を実施。2020年から現職。

### 岡田 怜士

東洋大学 情報連携学部 助教

- IPA産業サイバーセキュリティセンターの「中核人材育成プログラム」の講師（ITセキュリティ）を担当。
- 2019年からインド太平洋地域向け日米EU産業制御システムサイバー演習にファシリテータとして従事し、2022年度から本プログラムの講師。IT・OTのセキュリティ人材の育成に努める。

### 渡會 航生

東洋大学 情報連携学部 特任研究員

- IPA産業サイバーセキュリティセンターの「中核人材育成プログラム」の講師（ITセキュリティ）を担当。
- 2024年度から本プログラムの講師。OTセキュリティ・BCPなどの研究教育に従事する。最近では、セキュリティと生成AIの連携について研究を推進している。

- ◆ 本演習は日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的にプログラムを設計しており、取扱いに注意が必要な情報が含まれます。  
そのため、「秘密保持規約」、「倫理規約」、「著作権および商用利用の禁止」を含む、秘密保持誓約書にご署名いただきます。予めご了承ください。
- ◆ 災害等のやむを得ない事情により、IPAの判断で演習実施を中止することがあります。その場合でも、実施日の振替は行いません。中止した場合には、受講できなかった方へ受講料の返還等の措置を行います。ただし、演習中止に伴う受講できなかった方の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
- ◆ その他詳細は、お申し込み後に別途ご連絡させていただきます。

# 募集期間とお申し込み方法



## 募集期間

令和7年度第3回制御システム向けサイバーセキュリティ演習（2026年2月16日～2月17日開催）の募集期間は、**2026年1月23日（金）17時**まで、**入金は2026年2月6日（金）17:00**までといたします。入金方法については、申込受付後、IPAから請求書をお送りしますので、銀行振込にてお支払いください。

※募集定員に到達し次第、募集を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

## お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項をご記入いただき、メールにてPDFをご送付ください。

※お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡を差し上げます。

◆ 一般の方（登録セキスぺの方が実践講習として申し込まない場合も含む）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberstix/2025-3.html>

◆ 登録セキスぺの方（実践講習）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberstix/riss-2025-3.html>

※原則として、お申し込み後の受講区分（一般／実践講習）の変更は受け付けておりません。

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金はいたしかねますので予めご了承ください。

※受講料請求書は押印省略で発行いたします。押印希望の方は、お申し込み時にご連絡ください。

## お問い合わせ先

- 電話 : 03-5978-7554 (直通)  
※受付時間 : 平日 9時30分-18時00分
- メールアドレス : [coe-promo-ap@ipa.go.jp](mailto:coe-promo-ap@ipa.go.jp)
- 担当者 : 鈴木 / 小宮 (お申し込みに関すること)  
: 津山 / 安井 (演習内容に関すること)

### 【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムのお申し込みのためにご提供いただいた個人情報の適切な管理に努めております。当該個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>

IPA

